

市政調査費集計簿作成システム事例

◆導入前の課題

- ・支出証明書の情報公開にあたっての信憑性確保
- ・支出証明書の証拠書類(領収書など)の閲覧に時間がかかる
- ・過去5年分の証拠書類の保管スペースを圧迫

保管庫を
圧迫



◆導入前の運用

- ・各議員から提出された支出証明書をEXCEL表に入力
- ・4半期単位で集計簿作成
- ・各議員ごとの使途明細報告書を四半期単位で作成

◆導入後の運用イメージ

- ・議員の手書き支出証明書をスキャナで電子化
- ・領収書貼付用紙、支出証明書をOCR認識してDBに登録
- ・現時点、四半期単位、年度単位の集計簿を自動作成
- ・議員名、年度(四半期単位)、使途項目などで証拠書類を検索



fiスキャナ

OCR
変換

使途明細
DB

証拠書類の検索

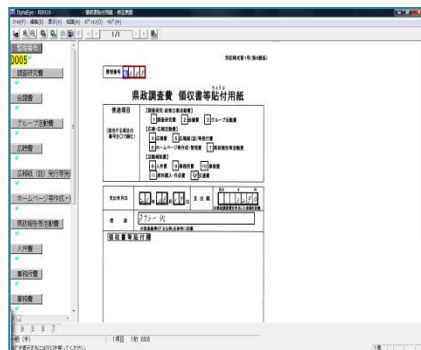
集計簿

◆導入効果

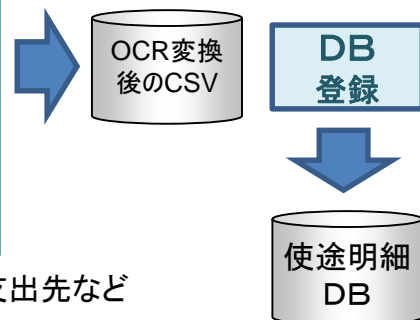
- ・任意な時点での集計簿が作成可能となった。
- ・証拠書類の検索が迅速に行え窓口で待たせる時間の短縮ができた。
- ・電子キャビネットで保管のため証拠書類の保管庫が不要となった。

◆機能概要

■ スキャナ入力とOCR変換処理機能



DynaEyeでOCR認識を行いテキストデータとして出力



OCR認識項目

整理番号、使途項目、支出年月日、支出額、使途内容、支出先など

■ 検索・修正機能

検索項目

年度(全体または四半期単位)、整理番号、議員員名、使途項目、支出年月日、支出額、使途内容、支出先など

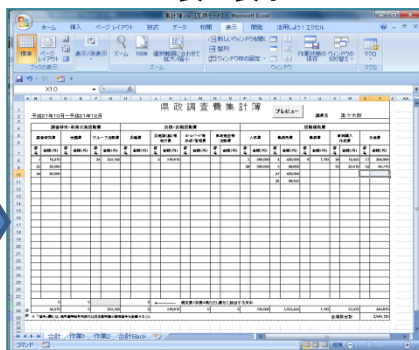
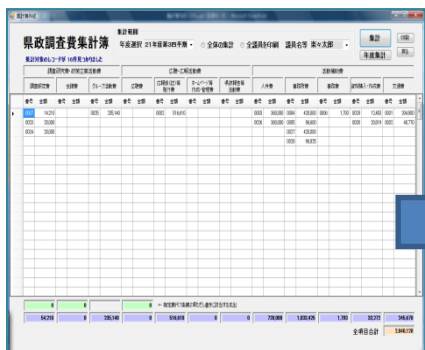
複数の条件を指定して絞り込み検索が可能
領収書などの証拠書類も「次項」で容易に表示できる



■ 集計簿作成・印刷機能

集計簿表示画面

EXCEL表で表示



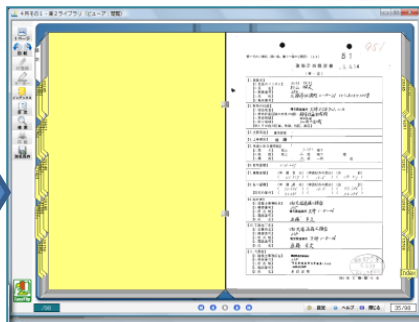
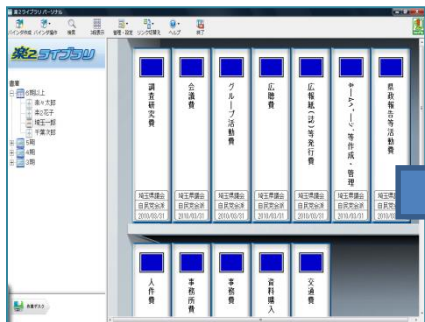
集計単位

・年度全体または四半期単位)

集計範囲

・議員ごとまたは議員全員

■ 電子キャビネットに保管



書庫: 当選回数

キャビネット: 議員ごと

バイнда: 使途項目

楽2ライブラリは、株式会社PFUの登録商標です
<http://www.pfu.fujitsu.com/raku2library/>

問合せ先

開発元 株式会社豊里システムソリューション
〒112-0005 東京都文京区水道 2-11-5 明日香ビル1階
電話 03-5856-1610

Mail toyoato@tssol.jp

<https://www.tssol.jp>

